

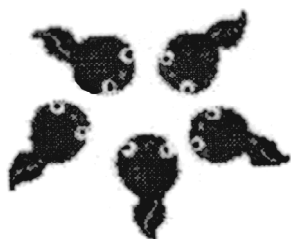
ニューズレター 2014 年度第 1 号

日本音楽表現学会 2014 年 7 月 31 日発行

日本音楽表現学会第 12（まほろば）大会特集

目	次
【巻頭言】「2014 年度の抱負」	安藤 政輝 2
日本音楽表現学会第 12 回（まほろば）大会報告	3
2014 年度総会報告	5
大会スナップ集	11
まほろば大会を終えて	村尾 忠廣 15
会員の感想：参加者の視点から見たまほろば大会	野崎 博子 16
：参加者の視点から	久保田葉子
：発表者の視点から	小川 有紀
：実行委員の視点から	檜垣 智也
新入会員紹介	17
日本音楽表現学会後援コンサート等情報	18
会員による新刊	19
会員による CD リリース	20
研究支援情報	20
『学会員名簿 2014 年度版』の発行について	21
『音楽表現学』Vol.12 の編集進捗状況報告	21
事務局からの重要なお知らせとお願い	22
各種書式	23
日本音楽表現学会第 13 回大会のご案内	24
2014 年度役員一覧・編集後記	24

日本音楽表現学会



所在地：〒616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

事務局：同上

Tel. 075-462-1388

E-mail: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>

年会費：5,000 円

振込先：郵便振込口座 01370=6=78225 日本音楽表現学会

2014 年度の抱負

安藤 政輝（箏曲）

去る 6 月 21・22 日に奈良の帝塚山大学で行われた第 12 回「まほろば」大会も、盛会裡に終えることができました。これも、みな会員の皆様のご協力の賜物と役員一同感謝しております。

総会において報告されましたように、役員は前年度から継続の 3 名に、任期満了 3 名に代わり新役員 5 名が加わって 8 名となり、2014 年度がスタートいたしました。役員の増員は、近年の会員数の増加と事務の多様化・増大化に対応するためのものです。私も会長職をもう 1 期務めさせていただくことになりました。一同、心を一にして学会の充実・発展のための環境づくりに努力をしてみたいと思います。ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

今年度の計画としては、沖縄における第 13 回大会、『音楽表現学』およびニューズレター（年 3 回）の発行、1 年おきに行っている会員名簿の発行があります。また、『論文執筆のしおり』増補版の発行、さらに、2010 年に発行して好評を博した『音楽表現学のフィールド』の第 2 弾となる学会編纂論文集（タイトル未定）の発行に向けて動き出します。ホームページの拡充も課題の一つです。

大会においては発表数も順調に増えてきており、うれしい一方で、6 会場で同時進行をしないと収まり切れなくなってきました。「聞きたい研究が重なってしまっていて残念」という声も聞かれます。本学会は発足時から口頭発表であっても実演を伴ってほしい、質疑応答にも十分な時間をとりたい、という基本理念で進めてきました。日本音楽表現学会ならではのこの基本的理念は今後とも維持していきたいと思っています。大会プログラムの作成には、学会員の研究分野や手法が同一時間に重ならないよう工夫を凝らしていますが、将来的には何らかの対応策を取らなければならなくなるかもしれません。

いずれにしても、毎回の発表は学会にとって貴重な財産となるべきものと考えています。過去の発表については文字による発表記録を、また今後は発表者の許諾を得た上でのことですが、録画による会員専用ネット上での閲覧の可能性など、理事会では検討を始めようとしています。

天候不順が続きますが、会員の皆様には、充実した 1 年を過ごされますよう、願っております。



日本音楽表現学会第12回（まほろば）大会報告

2014 年度総会報告

日 時：2014 年 6 月 21 日（土）16:00～17:00

場 所：帝塚山大学学園前キャンパス 18311 教室

出席者数：64 名、委任状 137 通 合計 201 名（定足数：会員総数 452 名の 1/3 以上）

記 録：澤田まゆみ

1. 開会の辞

杉江淑子事務局長によって総会の成立が述べられ、続いて安藤政輝会長から開会の辞が述べられた。

2. 議長・記録選出

会員の総意によって議長に阿部亮太郎、書記に澤田まゆみが選出された。

3. 報告

1) 2013 年度事業報告

杉江淑子事務局長より、【資料1】に基づき報告があり、承認された。

【資料1】 2013 年度事業報告 (2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日)

1. 第11回（イーハトーヴ）大会	2013 年 6 月 8 日（土）～9 日（日）	於：盛岡市民文化ホール & アイーナ
2. 2013 年度理事会	第1回 2013 年 6 月 8 日（土）10:00-12:00	於：盛岡市民文化ホール & アイーナ
	第2回 2013 年 11 月 30 日（土）10:00-16:00	於：滋賀大学大津サテライト会議室
	第3回 2014 年 3 月 30 日（日）10:00-16:00	於：滋賀大学大津サテライト会議室
	最終回 2014 年 6 月 21 日（土）10:00-12:00	於：帝塚山大学学園前キャンパス
	その他 電子媒体による持ち回り会議	
3. 学会誌編集委員会	第1回 2013 年 6 月 8 日（土）10:00-12:00	於：盛岡市民文化ホール & アイーナ
	第2回 2013 年 8 月 11 日～12 日	於：スタジオ AND
	第3回以降 電子媒体による持ち回り会議と編集作業等	
4. 選挙管理委員会	第1回 電子媒体による持ち回り会議	
	第2回 2014 年 2 月 9 日（日）12:30-17:30	於：近大姫路大学
	第3回 2014 年 3 月 16 日（日）13:30-16:00	於：姫路獨協大学
	その他 電子媒体による持ち回り会議	
5. 学会誌『音楽表現学』Vol.11 発行	2013 年 11 月 30 日（土）	
6. ニュースレター発行	No.1 2013 年 7 月 31 日（水）	
	No.2 2013 年 11 月 30 日（土）	
	No.3 2014 年 3 月 31 日（月）	
7. 後援	31 件（目標値 25 件）	
8. 会員数	440 名（2014 年 3 月 31 日現在）（目標値 450 名）	

2) 第11回（イーハトーヴ）大会決算報告

吉永誠吾会計担当理事より、【資料2】に基づき報告があり、承認された。

【資料2】 第11回（イーハトーヴ）大会決算報告

【収入】	費 目	金 額	備 考	[参考] 予算
	大会参加費	805,000	学会員：5,000 円 × 138 名 = 690,000 円 当日会員：3,000 円 × 37 名 = 111,000 円 学生会員：2,000 円 × 2 名 = 4,000 円	760,000
	『大会要項』販売	600	1 部 300 円 × 2 冊 = 600 円	
	広告料	205,000		200,000
	小 計	1,010,600		
	一般会計から補助	177,223		
	合 計	1,187,823		1,440,000
【支出】	費 目	金 額	備 考	[参考] 予算
	基調講演講師謝礼	100,000	交通費・宿泊費含む。	100,000

会場使用料	200,940	マリオス施設使用料金 92,300 円 アイーナ施設利用料金 108,640 円	160,000
楽器レンタル料	58,800	運搬費を含む	0
学生アルバイト謝金	176,400	700 円 /h×252 (h)	168,000
学生アルバイト昼食弁当代	18,018	昼食弁当代 (6 月 8 日 =10314 円、9 日 =7704 円)	28,800
会議費	25,460	理事会、編集委員会、実行委員会等	24,000
大会事業経費	105,080	事務局員旅費・宿泊費・謝金及び参事宿泊費補助 (前泊分)	60,000
印刷費	321,908	『大会要項』& ちらし、昼食案内、ホテル案内等	280,000
通信費	88,335	『大会要項』 発送費、その他	60,000
文具費	11,537	11380+157 (講師謝礼用) 封筒	20,000
雑費	18,105	会議用茶菓代・控室茶菓代 駐車場代、振込手数料等	34,200
小 計	1,187,823		960,000
合 計	1,187,823		960,000

3) 2013 年度会計報告・監査報告

小畑郁男会計担当理事より【資料 3】に基づき報告があり、また、谷口雄資監事より、2013 年度会計処理が適正に行われており、会計報告に問題がないことが報告された。支出の「第 11 回大会補助」について、【資料 2】の「一般会計から補助」との金額差異について質問があり、【資料 3】の「第 11 回大会補助」には「懇親会会費補助を含む」旨を付記することとし、会計報告・監事報告とともに承認された。

【資料 3】 2013 年度会計報告・監査報告

【収入】	費 目	決 算	予 算
学会年度会費	436 名※	2,174,000	2,100,000
	賛助会員	5,000	5,000
寄付		5,000	0
学会誌売上		50,960	60,000
利息		1,204	1,000
雑収入 (未処理金)		70,922	0
小 計		2,307,086	2,166,000
前年度繰越		1,283,740	1,283,740
学会基金		3,500,000	3,500,000
合 計		7,090,826	6,949,740

【支出】	費 目	決 算	予 算
『音楽表現学』	印刷費	522,900	800,000
ニューズレター	印刷費	73,710	50,000
理事会	会議費	9,861	20,000
	交通費	236,560	250,000
編集委員会	会議費	5,921	15,000
	交通費	262,650	250,000
	資料作成	7,400	0
選挙管理委員会	会議費	2,650	10,000
	交通費	30,680	30,000
	郵送料	70,960	50,000
	封筒作製費	5,560	0
通信費		120,676	170,000
払込手数料		4,941	5,000
事務局費		134,337	300,000
雑費、参事交通費等		7,300	120,000
大会関連費		8,360	100,000
第 11 回大会補助 (懇親会会費補助を含む)		209,623	0
予備費		0	100,000
小 計		1,714,089	2,270,000
次年度繰越金		1,376,737	1,179,740
学会基金		4,000,000	3,500,000
合 計		7,090,826	6,949,740

※滞納徴収分が含まれ、前年度までの既納入分は除かれている。すなわち年度中に納入された年会費延べ人数分である。

以上の通り報告いたします。

2014年5月12日

吉永 誠吾 印

小畑 郁男 印

監査の結果、以上に間違いありません。

2014年5月31日

谷口 雄資 印

海津 幸子 印

4) 年会費納入状況

小畑郁男会計担当理事より【資料4】に基づいて報告があり、承認された。

【資料4】年会費納入状況（2014年3月31日現在）

会員数	未納状況	納入額（滞納徴収分も含む）
440名（新入会員44名）	2011年～ 6名 2012年～ 21名 2013年 44名	正会員 5,000円×延422名＝2,110,000円 親族割引 4,000円× 6名＝24,000円

5) 2014-15年度会長・理事選挙結果報告

中磯子選挙管理委員長より【資料5】に基づいて報告があり、承認された。

【資料5】2014-15年度会長・理事選挙結果

2014年3月16日

2014-2015年度会長・理事選挙結果報告書

日本音楽表現学会会長

安藤政輝殿

2013年度選挙管理委員会

委員長 中 磯子 印

委員 鈴木慎一郎 印

〃 西野 晴香 印

2013年度選挙管理委員会では、2014-2015年度会長・理事選挙の開票を2014年3月16日（日）に姫路獨協大学医療保健学部児童心理学実習室において行いました。その結果をここに報告いたします。

記

	役 職	氏 名	得 票 数
1. 投票者総数：228票	会 長	安藤 政輝	211
2. 有効投票数：228票	理 事	應和 恵子	203
3. 無効票：0票	〃	奥 忍	213
4. 有効投票における各候補者の得票数 (右表)	〃	木下 千代	206
	〃	後藤 丹	204
	〃	小西 潤子	201
	〃	小畑 郁男	201
	〃	豊田 典子	202
	〃	藤原 嘉文	203

以上

6) 日本学術振興会「育志賞」推薦について

杉江淑子事務局長よりニューズレター2013年度No.3にて広報の結果、自薦・他薦がなかったので、理事会より候補者1名を日本学術振興会に推薦した旨、報告がなされた。

7) その他

なし

4. 協議

1) 2014 年度事業計画（案）について

杉江事務局長より【資料 6】に基づき提案があり、原案通り承認された。

【資料 6】		2014 年度事業計画	(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)
1. 第 12 回（まほろば）大会		2014 年 6 月 21 日（土）～22 日（日）	於：帝塚山大学
2. 2013 年度理事会	最終回	2014 年 6 月 21 日（土）10:00-12:00	
2014 年度理事会	第 1 回	2014 年 6 月 22 日（日）17:00-18:00	於：帝塚山大学
	第 2 回	(2014 年 11 月 29 日（土）10:00-16:00)	於：未定
	第 3 回	(2015 年 3 月 29 日（日）10:00-16:00)	於：未定
	その他	電子媒体による持ち回り会議	
3. 学会誌編集委員会	第 1 回	2014 年 6 月 21 日（土）10:00-12:00	於：帝塚山大学
	第 2 回	2014 年 8 月上旬	於：未定
	第 3 回以降	電子媒体による持ち回り会議と編集作業等	
4. 学会論文集編集委員会	第 1 回		
5. 学会誌『音楽表現学』Vol.12 発行		2014 年 11 月 30 日（日）	
6. ニュースレター発行	No.1	2014 年 7 月 31 日（木）	
	No.2	2014 年 11 月 30 日（日）	
	No.3	2015 年 3 月 31 日（火）	
7. 会員名簿発行		2014 年 11 月 30 日（日）	
8. 後援	35 件（目標値）		
9. 会員数	460 名（目標値）		

2) 第 12 回（まほろば）大会予算（案）について

小畑郁男会計担当理事より【資料 7】に基づき提案があり、原案通り承認された。

【資料 7】		第 12 回（まほろば）大会予算	2014 年 6 月 1 日
【収入】	費 目	金 額	備 考
	大会参加費	790,000	学 会 員：5,000 円×130 名＝650,000 円 当日会員：3,000 円×40 名 ＝ 120,000 円 学生会員：2,000 円×10 名 ＝ 20,000 円
	広告・ブース料	200,000	
	開催大学より協賛金	200,000	
	ポロシャツ製作補助費	53,000	
	ポロシャツ買取	16,000	1,600 円×10 名
	懇親会	400,000	5,000 円×80 名
	合 計	1,659,000	
【支出】	費 目	金 額	備 考
	基調講演講師謝礼	100,000	交通費・宿泊費含む。
	基調講演必要経費	20,000	ステージ設置等会場設営費
	オープニングコンサート謝礼	20,000	
	楽器運搬料	100,000	ラウテンクラヴィーア、クラヴィコード運搬費
	学生アルバイト謝金	200,000	@800 円×250h
	アルバイト昼食代	28,000	@700 円×20 名×2 日
	会議費	40,000	理事会・実行委員会・参事昼食代（1 日目のみ）、他
	大会事業経費	150,000	事務局スタッフ宿泊費、交通費、参事宿泊費、大会本部経費
	ポロシャツ製作費	76,000	1,680 円前後（サイズによる）×45 着（5 年使用予定・備品投資）
	同，クリーニング代	10,000	35 着
	印刷費	370,000	『大会要項』、ちらし 等
	通信費	65,000	『大会要項』発送費等
	交通費	20,000	実行委員会交通費、その他打合せ交通費
	文具費	20,000	

懇親会費	400,000	
雑費	40,000	
合 計	1,659,000	

3) 2014 年度予算（案）について

小畑郁男会計担当理事より【資料8】に基づき提案があり、原案通り承認された。支出の「大会補助」は昨年度の経験から今後より良い大会をしていくために新たに加えられたものである旨、説明が添えられた。

【資料8】

2014 年度予算

【収入】

費 目	2014 年度予算	2013 年度		2012 年度	
		決 算	予 算	決 算	予 算
学会年度会費 440 名	2,200,000	2,174,000	2,100,000	1,907,000	1,900,000
賛助会員	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
寄付	0	5,000	0		
学会誌売上	50,000	50,960	60,000	44,410	60,000
利息	1,000	1,204	1,000	838	1,000
大会からの繰り入れ	0	0	0	9,690	200,000
雑収入	0	70,922	0	0	0
小 計	2,256,000	2,307,086	2,166,000	1,966,938	2,166,000
前年度繰越	1,376,737	1,283,740	1,283,740	1,201,624	1,201,624
学会基金	4,000,000	3,500,000	3,500,000	3,000,000	3,000,000
合 計	7,632,737	7,090,826	6,949,740	6,168,562	6,367,624

【支出】

費 目	2014 年度予算	2013 年度		2012 年度	
		決 算	予 算	決 算	予 算
『音楽表現学』 印刷費	800,000	522,900	800,000	449,820	600,000
ニューズレター 印刷費	80,000	73,710	50,000	18,840	30,000
名簿 印刷費	30,000	0	0	24,030	20,000
理事会 会議費	20,000	9,861	20,000	15,840	20,000
交通費	350,000	236,560	250,000	146,248	250,000
編集委員会 会議費	15,000	5,921	15,000	0	15,000
交通費	250,000	262,650	250,000	205,840	200,000
資料作成費	5,000	7,400	0		
論文集 出版補助・購入費	300,000	0	0	0	0
論文執筆のしおり印刷費	60,000	0			
選挙管理委員会 会議費	0	2,650	10,000		
交通費	0	30,680	30,000		
郵送料	0	70,960	50,000		
封筒作製費	0	5,560	0		
通信費	200,000	120,676	170,000	116,600	170,000
払込手数料	10,000	4,941	5,000	11,430	5,000
事務局費	250,000	134,337	300,000	236,770	200,000
雑費、参事交通費等	100,000	7,300	120,000	75,934	120,000
大会関連費	100,000	8,360	100,000	83,470	40,000
大会補助	0	209,623	0		
予備費	170,922	0	100,000		100,000
小 計	2,740,922	1,714,089	2,270,000	1,384,822	1,770,000
次年度繰越金	1,191,815	1,376,737	1,283,740	1,283,740	1,097,624
学会基金	3,700,000	4,000,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000
合 計	7,632,737	7,090,826	6,949,740	6,168,562	6,367,624

* 2014 年 3 月 31 日現在会員数 440 名

4) 2014-2015 年度編集委員会委員の依頼（案）について

杉江淑子事務局長より【資料 9】のように提案があり、辞任及び依頼それぞれについて承認された。

【資料 9】 安藤珠希委員の辞任に伴い、曾田裕司会員に編集委員を依頼する（残任期間 1 年）。

5) 2014-2015 年度会長諮問会議構成員（案）について

杉江淑子事務局長より【資料 10】のように提案があり、原案通り承認された。

【資料 10】 草下 實、佐々木正利、杉江淑子、安田 香の各会員に依頼する。

6) 日本音楽表現学会会則改正（案）について

杉江淑子事務局長より【資料 11】に基づき提案があり、資料中の誤記（現行会則第 9 条は副会長 2 名、理事 5 名）を訂正の上、原案通り承認された。また、新たに設ける財務局長 1 名は会長以外の役員と同様に理事の互選で選出されることが確認された。

【資料 11】 日本音楽表現学会会則改正

改正	現行
第 4 条 本会に、事務局および財務局を置く。事務局は本会の会務を運営し、統括する。財務局は財務面で本会を代表する部局であり、本会の財務を統括する。	第 4 条 本会に、事務局を置く。事務局の所在地は 2 年毎に理事会の議を経て決定する。
2 事務局および財務局の所在地は 2 年毎に理事会の議を経て決定する。	
第 9 条 本会に次の役員をおく。	第 9 条 本会に次の役員をおく。
会長 1 名	会長 1 名
副会長 2 名	副会長 2 名
事務局長 1 名	事務局長 1 名
財務局長 1 名	理事 5 名
理事 4 名	会計監事 2 名
会計監事 2 名	

7) 編集委員会規程改正（案）について

杉江淑子事務局長より【資料 12】に基づき提案があり、原案通り承認された。

【資料 12】 編集委員会規程改正（案）

改正	現行
第 3 条 本委員会は、8 名の委員をもって構成する。 (以下、省略)	第 3 条 本委員会は、6 名の委員をもって構成する。 (以下、省略)

8) 『音楽表現学』「投稿規定」改正（案）について

杉江淑子事務局長より【資料 13】に基づき提案があり、原案通り承認された。

【資料 13】 投稿規定改正（案）

改正（案）	現行
1. 名称と内容 日本音楽表現学会は、機関誌として学術研究雑誌『音楽表現学 (Bulletin of the Japan Music Expression Society)』を刊行する。『音楽表現学』には、論文、寄書、展望、解説等を掲載し、使用言語は日本語または英語とする。原稿は未発表のものに限る。（後略）	1. 名称と内容 日本音楽表現学会は、機関誌として学術研究雑誌『音楽表現学 (Bulletin of the Japan Music Expression Society)』を刊行する。『音楽表現学』には、論文、寄書、展望、解説等を掲載し、使用言語は日本語または欧語とする。原稿は未発表のものに限る。（後略）
5. 投稿要領 (2) 原稿の形式および分量。 ・(省略) ・ワープロ原稿を原則とし、日本語の場合には『音楽表現学』指定テンプレート（1 ページ＝54 字×44 行）を用いて、A4 判縦置き、横書きとする。英文の場合は 1 ページあたり概ね 900 語を目安とする。	5. 投稿要領 (2) 原稿の形式および分量。 ・(省略) ・ワープロ原稿を原則とし、A4 版縦置き、横書きとする。字数は、日本語の場合は 1 ページ 2300 字程度とする。欧文の場合は 1 ページあたり概ね 1000 語を目安とする。
・原著論文、評論論文、研究報告の冒頭には、タイトル、および、3～5 個のキーワードを記入する。	・原著論文、評論論文、研究報告の冒頭には、タイトル、著者名、および、3～5 個のキーワードを記入する。

・ 原著論文、評論論文、研究報告には、<u>日本語</u>の場合は400字の要旨を添付する。英語の場合は英語要旨（200語程度）と日本語要旨（400字程度）を添付する。 ・ <u>英語での投稿に際しては、事前にネイティブチェックを受けること。</u> ・ 「投稿申込書」に、必要事項を記入して提出すること。 ・ 所定の「投稿チェックリスト」を用いて該当欄にチェックをいれた上で投稿原稿に添付すること。	・ 原著論文、評論論文、研究報告の冒頭には、タイトル、著者名、および、3～5個のキーワードを記入する。 ・ 原著論文、評論論文、研究報告には、<u>和文の場合は400字、欧文の場合は200語程度の要旨を添付すること。</u> ・ 別紙に、所属（あれば）、現住所（または連絡先の住所）、電話番号、メールアドレス、および原稿の種別を記入すること。原著論文、評論論文、研究報告については、本文が和文の場合には、タイトルと著者名を欧語で、欧文の場合には日本語で併記すること。
---	---

9) 編集委員会内規改正（案）について

杉江淑子事務局長より【資料14】に基づき提案があり、原案通り承認された。

【資料14】編集委員会内規改正（案）

改正	現行
1. 査読・編集の公平性を期すために、編集委員が『音楽表現学』に投稿した場合には、 <u>査読・採択までの業務を行う代理者を理事会が選出する。</u> 2. 理事会は、 <u>会長諮問会議構成員の中から専門分野等を考慮して代理者を推薦し、会長が委任する。</u> 3. 代理者の数は、編集委員の半数を超えることはできない。編集委員の中で投稿希望者が半数を超える場合には、編集委員会内で協議の上、半数までに絞り込むものとする。	1. 査読・編集の公平性を期すために、編集委員が『音楽表現学』に投稿した場合には、 <u>論文査読と採択の決定に関しては理事会構成員が代理を務める。理事会は、専門分野を考慮して代理者を推薦し、会長が委任する。</u> 2. 代理者の数は、編集委員の半数を超えることはできない。編集委員の中で投稿希望者が半数を超える場合には、編集委員会内で協議の上、半数までに絞り込むものとする。

10) 学会論文集Ⅱ（名称未決定）発行について

杉江淑子事務局長より既に東京堂出版から出版された論文集『音楽表現学のフィールド』につづき、2冊目となる学会論文集の発行について提案があり、承認された。編集方針については過去5年間の大会におけるワークショップ10本の成果を中心にするこの他、今後理事会で検討する旨が説明された。

11) 除名処分について

杉江淑子事務局長より、会則第8条（2）に基づき、3年以上の年会費未納者3名について会員名簿から削除することが提案されたが、入会時の推薦者から対象者に再度連絡、確認をとりたいとの申し出があり、保留された。その後、未納の原因が対象者の連絡先移動によることが判明、即時に入金されたので、除名処分は行わないことになった。

12) 第13回大会開催期日と候補地について

杉江淑子事務局長より【資料15】（本誌最終頁に掲載）に基づき小西潤子会員を大会実行委員長として2015年6月20日～21日に沖縄県立芸術大学で開催することが提案され、承認された。また小西潤子実行委員長からのプロモーションビデオにより、挨拶がなされた。

13) その他

協議題7)の編集委員会規程の改正は2015年度から、6)の会則改正は2014年度からであることが確認された。

5. 閉会の辞

議長が解任され、杉江淑子事務局長より閉会の挨拶があった。

まほろば大会が無事、いや、大成功に終わりほつとしております。帝塚山大学での開催は急に依頼されたピンチヒッターでしたが、喜んでお引き受けさせていただきました。その裏には、かねてから思いを馳せていた藍川由美さんに飛鳥、奈良時代の和琴による古代歌謡をぜひこの奈良の地にてデモンストレーションしていただきたい、という念願があったからです。

藍川さんは、日本歌曲や唱歌・童謡のCDや本をたくさんリリースしていて、そういう分野の専門家として知られています。が、近年、とりわけ『催馬楽を歌う』（2010）以降の藍川さんの大変貌はあまり広く知られていないようです。私はたまたま藍川さんからこのCDを送っていただき、耳にいたしました。大げさかも知れませんが、腰が抜けるほど驚きました。私に届いたメールには「私、バリトンになりました、そしてようやく日本人になりました」とあります。ソプラノであったはずの藍川さんの声の確かに男の声なのです。この男のような声は、この後でリリースされた『世界最古の「うた」をも求めて―古事記編纂 1300 年に蘇る古代のうた「琴歌譜」』（2012）においてさらに低く、深いものになってゆきます。催馬楽は平安の世界であり、あでやかな着物を着て演奏していますが、こちらは、平安を遡って、飛鳥、奈良時代の古代歌謡です。しかも、声楽家であったはずの藍川さんの奏でる和琴が実に美しい。音楽表現学会の奈良、まほろば大会にこれほどふさわしい基調講演者はいないでしょう。そう思って、まほろば大会実行委員会で提案し、基調講演として藍川さんに依頼することが決定しました。

基調講演が決定しますと、1) 一人の音楽家の中で多様な音楽文化に変貌する、2) そこにジェンダーと声の問題が関係する、という2つの視点からシンポジウムの計画を立てました。この視点から、シンポジストとして相応しい人として、岡田孝、北川純子、鶴澤友球という面々が人選され、基調講演を引き継ぐことになったのです。藍川さんの基調講演とこのメンバーのシンポジウムならば絶対面白いものとなる、そう確信しておりました。が、こちらの不手際もあって本番直前までハラハラ、ドキドキの連続でした。

しかし、初日が終わって、みなさんが口々に、基

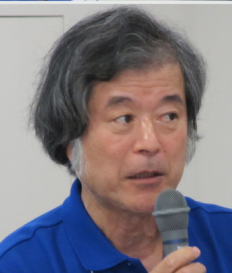
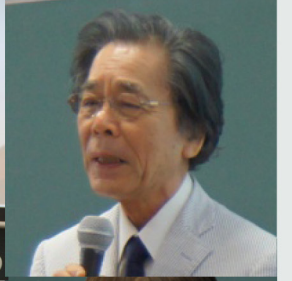
調講演、シンポジウムが素晴らしかったと言ってくださり、やっと安堵いたしました。実際、藍川さんの古代歌謡はまるで海の底から海神さまを呼びおこそうとしているかのように響いてきます。高度に洗練されながらも呪術のようです。琴を弾く時の手つきもまた印象的でした。アルペジオから放った手が空を舞、1弦を押さえにゆく時の動きが美しく今も目に焼き付いています。

その藍川さんが岡田さんの童謡歌手時代の苦労話に涙したそうです。北川さんの三味線で藤田元春師が語った浪曲に涙する人もおりました。鶴澤さんも最後に見事な義太夫節の弾き語りを披露してくださり、みなさま大満足だったように思います。

初日が終わると懇親会です。会場の帝塚山カフェは大会会場内にあります。便利で綺麗なカフェです。懇親会参加者も予想をずっと上まわりました。奈良の銘酒、「梅乃宿」がお酒、リキュール4升差し入れをしてくださいましたが、30分ほどで4升が空になってしまったのです。この酒造会社の社長は帝塚山大学出身で、大学提携のお酒となっています。たしかに美味しいお酒で、ワイングラスで飲むのにぴったしです。そのため、ワインの方が残ってしまったのではないのでしょうか。料理の方も大学食堂とはとても思えないほど、きれいに盛りつけられ、美味しいものでした。が、何しろ参加者が予想を大幅に超えたため、しっかり食べられなかった人もいたかもしれません。

2日目は、個人、グループの研究発表が中心でした。レッスン室を会場とした部屋などは参加者が入りきれないのでは、と心配されましたが、クラヴィノーヴァを移動させ、椅子を上手く詰めこんだため、どの会場も順調に発表できたようです。心配された機材も、Macとの相性の問題も大会直前の調整で解決され、本番ではどこも支障がありませんでした。これもやれやれです。

大会後の大仕事は会計です。予想を越える参加者、とりわけ当日会員が56名もありましたから、おそらく収支は大幅な黒字になるでしょう。まほろば大会に参加していただいた会員のみなさま、本当にありがとうございます。そして実行委員会のみなさま、本当にご苦労さまでした。もう一度、大会の成功を祝って乾杯をやりましょう。









参加者の視点から見たまほろば大会

野崎博子（ピアノ）

今年の大会のチラシは色彩のバランスが美しく、さぞかし内容も充実した発表であろうと期待した。初日の基調講演、シンポジウムと日本の伝統芸能の力強さに圧倒された。平均律で書かれた作品に耳慣れたものにとって埋もれていたDNAが騒ぐ。クラシック音楽のなかに日本人としての存在は何処にあるのかと考えを巡らせる。

分科会の部屋からは楽器、歌唱の音や声が多く聴こえていたのが今年の特徴であった。幾多の言葉を使って表現するより、たった一音で全てを理解させうるのが音楽の本質であろう。学校音楽教育にふれる発表が大会要項に散見していたので数えてみると研究発表54本のうち21本あった。音楽教育の多彩な試みが現在なされていることに光明が見える。我々を取り巻く環境も急速に変化し、IT革命以降いよいよ訳が分からない時代だが、何の！幽し、あえかな音を聴きわけられた古代の「まほろば」奈良であることを、秋篠寺の伎芸天であることを、記憶に残して。

参加者の視点から 久保田葉子（ピアノ）

「まほろば大会」には音楽への愛情と、子どもや学生が型にはめられた活動をするのではなく自分らしく喜怒哀楽のある豊かな表現をしてほしいという願い、そして、そのためにはどう教えたらいいのかを真摯に追求する、「表現」と「人間」を大切に作る会員の姿がありました。

藍川由美さんが六絃の和琴で弾き歌いして下さった『十五夜お月さん』の響きは、深く心に語りかけるものでした。研究を続けていくうちに新しい道を見つけたシンポジストの皆様のお話にも大いに刺激を受けました。一見ジャンルが違うように見えても、実は深いところでつながっている表現。一人の人間の中で広がり変化するものと、変わらないもの。学び続ける人の生き生きとした表情と謙虚さ。音楽が本当に好きだと自然とそうなるのだと思います。日本音楽表現学会の仲間たちにお会いすることができた奈良での濃厚な二日間と、「声のサロン」や懇親会でご一緒できた素敵な方たちの言葉を、私はこれからも思い出しながら歩んでいきます。

発表者の視点から 小川有紀（オルガン・音楽学）

「鍵盤楽器の黎明期」のテーマで発表致しました。西洋の鍵盤史の事始め“ヘレニズム時代の水オルガン”のお話で、夏休みの研究テーマを探す親子連れ、趣味でピアノを弾く若いご夫婦など、最近、講演会や種々の音楽教室で一般の方からの質問が増えた分野です。

今回発表したのは、日本音楽表現学会が様々な音楽分野の演奏者、教育者が集う場であり、一般的な話題として普及しつつある“水オルガン”の最新の情報を広くお伝えするに最適だと考えたからでした。現代のパイプオルガンの構造説明もしたかったので、30分という他の学会よりも長い発表時間も魅力でした。発表後には教室外でも熱心なご質問・ご感想を何件か頂いて、今後の研究の示唆を受けると共にさらなる意欲がわきました。

一番不安だった美術画のスライド表示も、実行委員の方々の細やかなご配慮とご助力を多く頂き、何とか無事に終えることができました。他の研究者との交流も豊かで、今後もぜひ参加させて頂きたく願っております。

実行委員の視点から 檜垣智也（作曲）

まほろば大会は私の「学会デビュー」でした。また私の地元・奈良で開催されるということで、新人ながら広報担当の実行委員を拝命。幽霊委員として呑気にしておりましたが、ある日、状況は一変。なんと私のコンピュータ音楽のコンサートに、今大会の菩薩・奥忍さんと安田香さんが素敵な大会ポスターを携えて、聴きにいらして下さったのです。終演後アタフタと初対面のご挨拶。もちろん私の専門もバレてしまい、コンピュータを使ったワークショップがある会場の機器も担当することになりました。そして実行委員会に恐る恐る足を踏み入れてみると、まるで曼荼羅図のように親切そうな女性たちが、大日如来・村尾忠廣大会委員長を取り囲んでおられ、随分ホッとしました。しかしそれも束の間、綿密で分厚い計画書が配布され唖然。その時、大変なことに巻き込まれていたことを実感しました。

——そろそろ私に与えられたこの作文の文字数です。結局大会当日について触れられませんが「新人でも実行委員のミッションは突然に。ココロせよ」と良き前例になったかなと思います。

新 入 会 員 紹 介

個人情報につき削除しています。

日本音楽表現学会後援コンサート等情報

- 齊藤 武さん **バッハ&齊藤武作品演奏会**
日 時：2014 年 7 月 12 日（土）
会 場：岡山大学教育学部北音楽棟 3F ホール
主要内容：J.S. バッハ《ソナタ ロ短調 BWV 1030》《平均律クラヴィーア曲集第Ⅱ巻第 4 番》前奏曲とフーガ嬰ハ短調，齊藤武《瀬戸内石切歌による組曲 ～2 本のフルートと打楽器のための～》《斑鳩幻想曲～フルートとピアノのために～》etc.
演 奏 者：諸田大輔 (Fl.) 中村穂奈美 (Fl.) 鹿間梢江 (Fl.) 岡崎美貴 (Pf.) 大野聖奈 (Pf.) 池上勝大 (Perc.) 齊藤武 (銅鑼)
料 金：無料
主 催：One Day Festival 岡山実行委員会
- 鶴澤友球さん **鶴澤友球 浄瑠璃ライブ vol.21**
(向田由美) 日 時：2014 年 7 月 19 日（土）14:00 開演
会 場：向田宅（淡路市中田 1673-1）
演 目：『絵本太功記』十段目〈尼崎の段（口）〉
料 金：一般 1,400 円 学生割・リピーター割有
主 催：鶴澤友球&友球会
- 山田まゆみさん **サマーコンサート**
日 時：2014 年 8 月 2 日（土）14:00 開演
会 場：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）1 階パフォーマンススペース
趣 旨：ピアノ、声楽自作曲の発表。親しみやすいクラシック、ジャズなどの幅広いジャンルのピアノ演奏で、観客に音楽の楽しさや理解を深めてもらう。
主要内容：ピアノ独奏、声楽独唱、ピアノ連弾演奏など
- 山名 敏之 さん **ウィーンの銘器ローゼンベルガーによるシューベルトティアーデ第 1 回**
日 時：2014 年 8 月 2 日（土）19:00 開演（18:30 開場）
会 場：Cubetto di musica a Misaki（南海本線みさき公園駅より徒歩 10 分）
趣 旨：シューベルト時代のオリジナル楽器ローゼンベルガー製フォルテピアノ（1820 年頃）による連弾作品連続演奏会の第 1 回
主要内容：幻想曲 D1、性格的行進曲 2 D968b、フランス風ディヴェルティスマン D823、6 つのポロネーズ 1 D824-1 他
演 奏：山名敏之 & 山名朋子
料 金：3,000 円（学生 2,000 円）定員 30 名 要予約
予約申込：072-425-6063（クベット・ディ・ムジカ みさき）e-mail:yamana@klavi.
- 島野聖章さん **ピアノの詩人～オール・ショパン・プログラム～**
日 時：2014 年 8 月 3 日（日）14:00 開演
会 場：music cafe Angés (HP: <http://cafeanges.com/>)
主要内容：前奏曲作品 28 より、マズルカ変ロ長調、幻想即興曲、英雄ポロネーズ、他
演 奏 者：島野聖章
料 金：1,000 円（ドリンク別）
主 催：music cafe Angés
申 込 み：0744-35-4018（Angés）

- 島野 聖章さん **ピアノの詩人〜オール・ショパン・プログラム〜**
 日 時：2014年8月11日（月）11:30 開演
 会 場：宗次ホール（HP: <http://www.munetsuguhall.com/>）
 主な内容：別れの曲、革命のエチュード、英雄ポロネーズ他
 演 奏 者：島野聖章
 料 金：1,000 円（全自由席）
 主 催：宗次ホール
 申 込 み：shimanomasaaki219@live.jp(島野メールアドレス)
- 大澤 聡 さん **瑠瑠会コンサート**
 日 時 2014年8月24日（日）13：15 開演（12：45 開場）
 会 場：5/R Hall & Gallery 音楽ホール（名古屋市千種区）
 趣 旨：大学でともに研究した仲間が、卒業後それぞれに培ったものを披露する
 主な内容：ショパン：夜想曲 Op48-1、ドビュッシー：沈める寺、小組曲など
 出 演 者：大澤聡（Pf）、澁谷由美（Sop）、見田寛（Pf）、安田香（Pf）、他
 後 援：岐阜聖徳学園大学同窓会
 問合せ先：大澤 sarusataalk@knh.biglobe.ne.jp
- 小畑 郁男さん
 佐野 仁美さん
 江口 文絵さん **楽譜と表現 02 レクチャー・コンサート**
 「楽譜を読む・楽譜に書くー記憶のメカニズムから探る 音楽のかたちー」
 日 時：2014年9月13日（土）19:00 開演
 会 場：旧香港上海銀行長崎支店記念館（長崎市）
 趣 旨：時間の流れとともに移ろいゆく音楽の本質を損なうことなく、音楽のかたちを捉えるために、記憶のメカニズムを背景に音楽を考えていく。
 主な内容：ベートーヴェン作曲《ピアノソナタ第 23 番》、ベートーヴェン作曲《ピアノソナタ第 31 番》、小畑郁男作曲《はつ雪の一女声とピアノのためにー》、芭蕉七部集『冬の日』の中、《はつ雪の巻》による歌曲
 出 演 者：小畑郁男（解説） 佐野仁美、江口文絵、吉田真深（演奏）
- 山崎 英明さん **こだわりさいたるⅢ ～秋に聴きたい“叙情”～**
 日 時：2014年9月23日（火・祝）
 会 場：岡崎市シビックセンターコンサートホール コロネット
 主な内容：三善晃「ほおずき」、山田耕筰「曼珠沙華」、木下牧子「おんがく」、武満徹「死んだ男の残したものは」他
 演 奏 者：山崎英明（声楽・テノール） 日比亮太（ピアノ）
 料 金：全自由席 1,000 円
 主 催：JAM 企画
 共 催：岡崎市シビックセンター指定管理者、トーエネック・ピーアンドピー共同事業体
 後 援：岡崎市教育委員会
 協 賛：愛知県立芸術大学音楽学部同窓会、日本音楽表現学会
- 牛渡 克之さん **東北プラスキャンプ 2014**
 日 時：2014年9月27日（土）午後～9月28日（日）夕方 1泊2日
 会 場：ふるさと体験館〒024-0324 岩手県北上市和賀町山口 23-24-5
<http://user.ginga-net.ne.jp/~k-zaidan/>
 趣 旨：主にアマチュア奏者に対して講習と交流の場を提供する
 主な内容：個人及びグループレッスン、講師による演奏会、資料展示、受講生の成果発表会等

講師：牛渡克之 (Eup)、鈴木理愛 (Eup)、大塚哲也 (Tub.)、ピーター・リンク (Tub.)
主催：東北ブラスキャンプ 2014 実行委員会 (代表・牛渡克之 / 事務局長・橋本貢一)

加藤 晴子さん **たおやかに美しい日本の歌**
日 時：2014 年 10 月 5 日
会 場：日本福音ルーテル岡山教会
主要内容：團伊玖磨の声楽作品、独唱、二重唱、《抒情歌》全曲、《六つの子供の歌》全曲、
《花の街》、他演 奏 者：加藤晴子、小島裕子、丸田紫生、文裕理
料 金：2,000 円
主 催：Salon.K

牛渡 克之さん **牛渡克之ユーフォニアムリサイタル Vol.10**
〔東京公演〕2014 年 10 月 6 日 (日) 19:00 開演 (18:30 開場)
東京オペラシティ・リサイタルホール
一般 3,000 円 大学生以下 2,000 円 *当日 500 円増し
〔札幌公演〕2014 年 10 月 9 日 (木) 19:00 開演予定／札幌キラ・小ホール、
一般 2,500 円 大学生以下 1,500 円 *当日 500 円増し
〔大阪公演〕10 月 14 日 (火) 19:00 開演予定／大阪三木楽器開成館
一般 2,500 円 大学生以下 1,500 円 *当日 500 円増し
趣 旨：1 年間の演奏研究における成果を発表する。
主要内容：P. スパーク《ユーフォニアム協奏曲第 1 番》 A. ギルマン《演奏会用小品》
P. グレアム《ユーフォニアム協奏曲》他

{ 中村 滋延さん **オーケストラ・プロジェクト 2014**
藤原 嘉文さん 日 時：2014 年 12 月 1 日 (月)
会 場：東京芸術劇場大ホール
演奏曲目：柳田孝義「ヴィオラ協奏曲」、中村滋延「聖なる旅立ち (交響曲第 5 番)」、小
坂直敏「オーケストラの音の音」、藤原嘉文「ピアノ協奏曲第 2 番」
演 奏：大井剛志 (cond.) 青木篤子 (Vla) 蛭多令子 (Pf.)、東京交響楽団 (Orch.)
料 金：全自由席 一般 4,000 円 (学生 2,000 円当日券のみ)
主 催：オーケストラ・プロジェクト 2014
協 力：東京交響楽団
後 援：(社) 日本作曲家協議会、日本現代音楽協会

会員による新刊

鷺尾 惟子さん 『シルクロード・ウイグル族の音楽—その歴史と現在』
発行年月：2014 年 4 月
出 版 社：アルテスパブリッシング出版
定 価：本体 1500 円＋税
備 考：ISBN978-4-903951-85-0 C1073
<http://www.artespublishing.com/blog/2014/04/10-1480>

舟橋 三十子さん 『フォルマシオン・ミュージカル 名曲で学ぶ音楽の基礎 I 楽典・ソルフェージュから音楽史まで』
発行年月：2014 年 3 月
出 版 社：音楽之友社
定 価：本体 2100 円＋税

備 考：ISBN978-4-276-10053-4

『フォルマシオン・ミュージカル 名曲で学ぶ音楽の基礎 II 楽典・ソルフェージュから音楽史まで』

発行年月：2014 年 3 月 出 版 社：音楽之友社

定 価：本体 2100 円＋税

備 考：ISBN978-4-276-10054-1

＊フォルマシオン・ミュージカル（フランスのソルフェージュの学習方法）を日本の現状に合わせ、「幅広い視点から音楽を捉える」考え方に基づいて構成された問題集。I は初級編、II は上級編。

舟橋三十子さん 『クラシックの聴き方入門～名曲のスタイル分析 全 80 曲～』

発行年月：2010 年 3 月 出 版 社：ヤマハミュージックメディア

定 価：1836 円（税込）

備 考：ISBN978-4-636-85491-6 C0073

後藤 丹さん 「ボレロ」（ラヴェル） 全音ピアノピース No.532（編曲）

発行年月：2014 年 2 月

出 版 社：全音楽譜出版社 ISBN978-4-11-911352-9

定 価：500 円＋税

後藤 丹さん 「春」第 1 楽章（ヴィヴァルディ） 全音ピアノピース No.541（編曲）

発行年月：2014 年 4 月

出版社：全音楽譜出版社 ISBN978-4-11-911541-1

定価：500 円＋税

会員による CD リリース

山名 敏之さん ハイドンと 18 世紀を彩った鍵盤楽器たち

演 奏：山名敏之

発 売 日：2014 年 4 月 7 日

発 売：ALM RECORDS

価 格：3,040 円（税込）Amazon 等で購入可能

内 容：クラヴィコード、チェンバロ、フォルテピアノの 3 種楽器によるハイドンの作品の演奏比較。ハイドン：カプリッチョ「豚の去勢にや 8 人がかり」Hob. XVII-1 / ソナタホ長調 Hob.XVI-52 / ソナタハ短調 Hob.XVI-20

備 考：『レコード芸術』（特選盤）、朝日新聞（推薦盤）、『音楽の友』（注目盤）、『ショパン』（CD pick up）、『音楽現代』（推薦盤）

研究支援情報

ヤマハ音楽支援制度 研究活動支援 2015 年度対象者募集のお知らせ

支援対象：2015 年 4 月～2016 年 3 月の間に行われる、音楽をテーマとした研究活動

- ・音楽を科学的あるいは社会学的視点から考察した研究活動
- ・個性的かつ創造性に富んだ研究活動
- ・音楽文化の向上に有益な、又は新しいテーマを持った研究活動

支 援 額：1 件につき 100 万円まで（返済不要）

Web エントリー：2014 年 9 月 1 日（月）～9 月 25 日（木）17:00 ＊時間厳守

面接選考：2014 年 11 月 10 日（月）〈書類選考通過者のみ〉

詳 細：ヤマハ音楽振興会 Web サイト <http://www.yamaha-mf.or.jp/shien/>

『会員名簿 2014 年度版』の発行について

『会員名簿』は2年に1回発行しています。今年はその発行年にあたります。学会員数がまだそれほど多くなかった頃には各会員の関心事を数行掲載していましたが、前回は「名簿」に徹する方針で編集いたしました。2014 年度版もこの方針を引き継ぎたいと考えます。最新の情報を掲載したいので学会員みなさまにご協力をお願いいたします。

以下の項目に関して該当事項をご記入の上、8月20日(水)までに会員情報ホームかメールでお送りください。

- 1) ご氏名と読み仮名
- 2) 専門分野
- 3) 所属機関名 (名簿掲載について○/×)
- 4) 連絡先住所・所在地 (名簿掲載について○/×)
- 5) 電話番号・FAX 番号 (名簿掲載について○/×)
- 6) E-mail アドレス (名簿掲載について○/×)

みなさまからお寄せいただく情報は学会運営に欠かせない「会員名簿」の更新に役立てます。しかし、3)～6)に関しては、プライバシー保護の観点から、ご希望があればこの度発行する『学会員名簿』には掲載しません。不掲載を希望される方は該当項目に「×」をお記してください。

- ・会員情報フォーム：<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>、
- ・事務局メールアドレス：music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

『音楽表現学』Vol.12 の編集進捗状況の報告

『音楽表現学』は毎年11月末日に発行する本学会の機関誌です。内容は投稿原稿等と当該年度の「大会報告」の2部分から成り立っています。

「大会報告」に関しては、それぞれ1頁の割り当てで発表者と司会者が協力しあって完成させます。原稿〆切は7月31日ですから、このニューズレターがお手元に届く頃には全ての頁が埋め尽くされていることでしょう。

応募原稿に関しては、今年度は全部で10本ありました。編集委員会では現在掲載論文の査読・選定作業が鋭意進められています。1本の論文に2～3名の査読者が付き、その評価を基に編集委員会で選定し、論文公刊までの作業が進んでいきます。それは端から見ても大変な作業ですが、委員会メンバーには大変誠実に取り組まれています。論文内容が完成に近づくとレイアウト作業が入ってきます。

以上の行程を順調に進めるために今年度の総会では「投稿規定」の改正をお認め頂きました。執筆を合理的に進めるための「テンプレート」、原稿を提出する前の「投稿チェックリスト」、原稿と共に提出する「投稿申込書」が3点セットになっています。「投稿チェックリスト」は『音楽表現学』に限らず、どこに原稿を投稿されるときにもお役に立つでしょう。

同様に、2012年度に発行した『音楽表現論文執筆のしおり』もまた、どのような原稿を執筆されるときにも参考にしていただけると自負しています。学会では今年度は『しおり』の増補版発行を計画しています。みなさまの執筆活動を力強くサポートできるよう内容を充実していきたいと考えています。何かアイデアがありましたらどうぞ事務局までお知らせください。頁数に限度があるのでご意向に沿えるかどうかわかりませんが、いずれにせよ、学会員のニーズに応えるような『しおり』発行を目指します。

(文責：奥 忍)

事務局からの重要なお知らせとお願い

本年2月に行われた選挙によって7月1日から事務局体制が替わりました。事務局長：奥忍と事務局担当理事：豊田典子で担当します。杉江淑子前事務局長の的確な対応を引き継ぐべく精一杯励む所存ですが、至らないところはどうぞご寛容をお願いいたします。学会員のみなさまのご協力を得て無事任務を全うしたく、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

1. 年会費の納入について

- ・年会費未納の方には今回ニューズレターとともに、「郵便振込票」を同封しています。過年度分が未納の方の振替票には、未納年度に印を入れてあります。行き違いご送金済みの場合はご容赦ください。
- ・学会は皆様方の年会費で運営されています。機関誌の発行、大会の開催など、さまざまな活動に支障をきたすことのないよう、速やかな納入をお願いいたします。
- ・納入は必ず郵便振替でお願いします。なお、学会では原則として領収書発行はいたしませんので、無意識滞納対策の一助として、納入後はただちに、「振替払込請求書兼受領証」（ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」）に、納入年度をメモの上、保存されることをお勧めいたします。

2. 住所・所属・電話番号・メールアドレスの変更は、速やかにお届けください。

- ・学会からの送付物はお届けいただいた連絡先に送っていますが、転居先不明等で返却される封筒が少なからず存在します。そのたびに所属先や、時には入会時の「推薦者」に問い合わせ再送しています。このような手間と経費を削減するために、みなさまのご協力を切にお願い申し上げます。
- ・連絡先変更は、下記アドレスから「会員情報フォーム」に変更事項を入力いただくか、事務局までメールで直接お知らせください。
- ・会員情報フォーム：
<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>、
- ・事務局メールアドレス
music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

3. ニューズレターへの投稿

ニューズレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見など、ご寄稿ください。

- ・研究ノート、随想など：図表等を含めて刷り上がり1頁以内。
- ・コンサート情報：学会後援のものを掲載します。
- ・新刊案内・CD/DVD リリース：会員による刊行物の紹介。購入方法なども含めてお知らせください。
- ・その他：所属されている他学会の情報などもお寄せください。
- ・投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

4. 『音楽表現学』バックナンバー購入方法

メール等で事務局までお申し込みください。以下の代金は、到着後郵便振替でお願いします。

会員価格：Vol.2～Vol.3は1部1500円＋送料

Vol.4～Vol.10は1部3000円＋送料

一般価格：Vol.2～Vol.3は1部3000円＋送料

Vol.4～Vol.11は1部3500円＋送料

大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。なお、Vol.1は残部がありません。

5. 学会の会員サポート制度をご活用下さい。

- ・機関誌『音楽表現学』への投稿：
『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。なお、投稿〆切は、例年5月31日です。
- ・大会での発表：
本学会ならではの生の音楽表現を含めた研究発表の機会をご利用ください。
- ・コンサートの後援・協賛：本学会ホームページのリンクから〔コンサート等公演/協賛申請フォーム〕にて申請してください。

【各種書式】

1. 「入会申込書」

入 会 申 込 書	
日本音楽表現学会に入会を申し込みます。	
年 月 日	
1) 氏 名 (ふりがな) :	_____
2) 専門分野 :	_____
3) 所 属 : (あれば)	_____
4) 自宅住所 :	〒 _____
5) 連絡先 : (上記と異なる場合) 〒	_____
6) 連絡先 Tel. :	_____
7) 連絡先 Fax. :	_____
8) e-mail :	_____
9) 推薦者名 (学会員・1名)	_____
10) 日本音楽表現学会に期待されること、ご要望等を150字程度でお書きください。 (入会承認後ニューズレターの新入会員紹介の記事にさせていただきます。)	

[備考]

- ・「入会申込書」を送付いただきましたら、事務局から年会費納入のための郵便振替票を送ります。年会費ご入金の確認をもって手続きを進め、入会承認後、「入会承認のお知らせ」文書をお手元にお届けします。
- ・入会申込書はHPからもダウンロードできます。
- ・学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。
- ・お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

2. 「後援願」〔コンサート等後援・協賛申請フォーム〕にて申請ください。

「後援願」は、本学会ホームページのリンクから〔コンサート等後援・協賛申請フォーム〕に必要事項を記入して申請していただきますよう、ご協力よろしくお願いいたします。

3. その他 他の書式が必要なときには、事務局へお申し出下さい。

日本音楽表現学会第 13 回大会のご案内

会 場：沖縄県立芸術大学（〒 903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町 1-4）

会 期：2015 年 6 月 20 日（土）、21 日（日）

実行委員長：小西潤子

那覇空港から首里当蔵キャンパスへのマップ



那覇空港から首里当蔵キャンパスへのアクセス／所要時間

自動車利用の場合	モノレール利用の場合	バス利用の場合
那覇空港（那覇）より 9.8km、 約 45 分。 沖縄自動車道・那覇 I.C. から 約 10 分。	那覇空港駅より首里駅まで 約 35 分。 首里駅より徒歩約 10 分。	「当蔵」バス停下車、徒歩 1 分。 那覇バス系統番号 1 系統 首里牧志線 17 系統 石嶺（開南）線 46 系統 糸満西原線 14 系統 牧志開南循環線 沖縄バス系統番号 8 系統 首里城下町線

2014 年度役員一覧

会 長： 安藤 政輝
副 会 長： 後藤 丹 小西 潤子
事務局 長： 奥 忍
財務局 長： 小畑 郁男
理 事： 豊田 典子（事務局担当）
應和 恵子（財務局担当）
藤原 嘉文（総務担当）
木下 千代（総務担当）

編集委員会：
委員長 菅 道子
副委員長 中村 隆夫
委員 小野 亮祐 澤田まゆみ
志民 一成 曾田 裕司

選挙管理委員会：
委員長 中 磯子
委員 鈴木慎一郎 西野 晴香
監 事： 海津 幸子 谷口 雄資
会長諮問会議：草下 實 佐々木 正利
杉江 淑子 安田 香
参事：（事務局）似内 裕美子 松井 萌
近藤 晶子

編集後記

まほろば大会は関係各位のご尽力と熱のこもった研究発表で盛会裡に終わり、実行委員一同感謝の念にたえません。新しい理事体制も動き出した。思えば 12 年前「どんな学会なんだろう…」と半信半疑で設立大会に参加しましたが、その後会員数も順調に増え、充実した楽しい学会に成長していることを大変感慨深く感じます。

とくに若い研究者たちにとって貴重な発表の場となっているのはうれしいかぎりです。これまで諸先輩方が築いてこられた会の精神と緻密な運営方法を大切に受け継ぎ、愛する学会のために微力ながらお役に立ちたい、と身の引き締まる思いです。

今後とも会員の皆様方のご協力を心からお願いいたします。

（木下 千代）